

食品安全関係情報(6月20日 ~7月3日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

6月20日 ~7月3日 (前回6月6日 ~6月19日)		国際機関 WHO・FAO等 (6/0件)	北米 米国 (8/6件)		カナダ (2/0件)	欧州 EU、EFSA (35/30件)		各国 (13/14件)	大洋州 FSANZ等 (9/5件)	アジア 中国 (2/9件)		各国 (3/8件)	中南米等 各国 (0/0件)	その他 報道、論文等も含む (20/36件)
化学物質 (34/43件)	化学物質・汚染物質 (8件)	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	2	
	食品添加物 (10)	0	1	1	6	0	0	0	0	1	0	0	1	
	農薬 (9)	1	4	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
	動物用医薬品 (2)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	器具・容器包装 (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	その他 (3)	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
計 (34件)	1	6	1	14	3	2	0	2	0	2	0	5		
微生物・プリオン・自然毒 (27/25件)	細菌 (5件)	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	ウイルス (3)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	プリオン (6)	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	
	植物性自然毒 (3)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	カビ毒(マイコトキシン) (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他 (9)	3	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	2		
計 (27件)	5	0	1	4	6	1	0	0	0	0	0	10		
新食品等 (11/15件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	GMO (7)	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2	
	健康食品 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	アレルギー (3)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ナノテクノロジー (1)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計 (11件)	0	2	0	5	1	0	0	0	0	0	0	3		
肥料・飼料等 (0/3件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	飼料 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他 (26/22件)	表示 (2件)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
	放射性物質 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	栄養 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (21)	0	0	0	11	2	5	2	1	0	0	0	0	
	論文情報 (2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
計 (26件)	0	0	0	12	3	6	2	1	0	0	0	2		
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(6月20日～7月3日収集分 98件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 欧州委員会(EC) 保健衛生・食の安全総局(DG SANTE)、欧州連合の耕作土壌における今後のカドミウム蓄積に関する意見書が公開され、意見募集がなされている旨公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・ 食品中の塩素酸塩の存在に関連した公衆衛生に対するリスクについて科学的意見書を公表
 - ・ 食品中のニトロフラン類及びそれらの代謝物類に関する科学的意見書を公表
- ・ ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、乳幼児及び子供の保護のための無機ヒ素の基準値に関する欧州連合(EU)による補足情報を伝えた
- ・ Environmental Health Perspectives : 「出生前及び若年期のヒ素のばく露と関連する潜在的疾病リスク(latent disease risk)の基礎となるメカニズム：最近の研究傾向及び科学的ギャップ」
- ・ 世界保健機関(WHO)、ダイアジノン、グリホサート及びマラチオンに関する専門家のタスクフォースを編成したことを公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 国際獣疫事務局(OIE)、アイルランドのBSE症例について情報を掲載
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、小売段階における包装済の水産製品に適用される輸送時及び保管時の温度の評価に関する科学的及び技術的支援に係る科学報告書を公表
- ・ オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)、2014年のヒト及び動物における抗生物質の使用及び薬剤耐性に関する報告書を公表し、薬剤耐性に変化はないがより強力な耐性菌の出現が予測されると発表
- ・ Eurosurveillance: 「2015年5～6月の韓国におけるMERS-CoV集団感染の中間疫学評価」

【その他】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、EFSAの科学的評価における不確実性に関する手引書案について意見公募